

平成30年6月4日

青森県教育委員会第833回定例会

期 日 平成30年6月4日（月）  
場 所 教育庁教育委員会室

## 会 議 次 第

### 1 開 会

### 2 報 告

- 報告第1号 市町村立学校職員の人事について …………… 1
- 報告第2号 県立学校職員の人事について …………… 2

### 3 議 案

- 議案第1号 市町村立学校職員の人事について …… (非公開の会議)
- 議案第2号 県立学校職員の人事について …… (非公開の会議)
- 議案第3号 学校職員の人事について …… (非公開の会議)
- 議案第4号 平成31年度青森県立中学校入学者選抜基本方針案  
について …………… 3
- 議案第5号 平成31年度青森県立高等学校入学者選抜基本方針  
案について …………… 4
- 議案第6号 平成31年度青森県立特別支援学校高等部入学者選  
抜基本方針案について …………… 6
- 議案第7号 県立高等学校の募集停止について …………… 7
- 議案第8号 県立高等学校の学科の廃止について …………… 8

### 4 閉 会

# 報告第1号

## 市町村立学校職員の人事について

むつ市立脇野沢小学校校長 久保田 正裕の降任の承認について、緊急を要するため、青森県教育委員会の事務の委任等に関する規則第4条第1項の規定に基づき、教育長において臨時に代理し、次のとおり行ったので、ここに報告します。

むつ市立脇野沢小学校

校長 久保田 正 裕

むつ市立脇野沢小学校教諭に降任させる

平成30年5月15日

青森県教育委員会

# 報告第2号

## 県立学校職員の人事について

青森県立弘前中央高等学校校長 吉田 健の辞職の承認について、緊急を要するため、青森県教育委員会の事務の委任等に関する規則第4条第1項の規定に基づき、教育長において臨時に代理し、次のとおり行ったので、ここに報告します。

青森県立弘前中央高等学校

校長 吉田 健

辞職を承認する

平成30年5月19日

青森県教育委員会

## 議案第4号

### 平成31年度青森県立中学校入学者選抜基本方針案について

平成31年度青森県立中学校入学者選抜基本方針を次のように定める。

#### 平成31年度青森県立中学校入学者選抜基本方針

- 1 県立中学校の通学区域は、県下一円とする。
- 2 入学者の選抜は、小学校での学習や日常生活を通して身に付けた力、学習に対する意欲などを、筆記による適性検査、面接、調査書を組み合わせて、総合的に評価し、行うものとする。
- 3 選抜に当たっては、県立中学校において入学者選抜委員会を設け、公正に行うものとする。

# 議案第5号

## 平成31年度青森県立高等学校入学者選抜基本方針案について

平成31年度青森県立高等学校入学者選抜基本方針を次のように定める。

### 平成31年度青森県立高等学校入学者選抜基本方針

青森県立高等学校における入学者の選抜は、この方針によって実施する。

入学者の選抜は、教育の機会均等の精神にのっとり、公正かつ妥当な方法で、各高等学校及び学科の特色に応じ、能力・適性、意欲、努力の成果などを様々な観点から評価し、適正に選抜されるよう実施するものとする。

- 1 高等学校の通学区域は、県下一円とする。
- 2 全日制の課程及び定時制の課程の入学者の選抜は、次のとおりとする。
  - (1) 出願は、1人、1校1学科・コース(部)に限るものとする。ただし、当該校に設置されている学科間等で第2志望を認める。
  - (2) 選抜は、中学校等の校長から提出される調査書(以下「調査書」という。)、青森県教育委員会が実施する学力検査の成績、各高等学校で行う面接の結果及び各高等学校が定める選抜資料等に基づいて、一般選抜と特色化選抜により行うものとする。
  - (3) 連携型中高一貫教育を実施する高等学校の入学者の選抜は、別に定めるところにより連携型入学者選抜を行うものとする。この場合、調査書及び学力検査の成績以外の資料により行うことができるものとする。
  - (4) 合格者数が募集人員に満たない学科等において、別に定めるところにより、再募集を行うものとする。

- 3 通信制の課程の入学者の選抜は、調査書又は入学出願資格に関する証明書等に基づいて行い、学力検査は実施しないものとする。
- 4 青森県教育委員会が実施する学力検査は、次のとおりとする。
  - (1) 実施教科は、国語、社会、数学、理科、外国語（英語）の5教科とする。
  - (2) 各教科の学力検査問題は、中学校学習指導要領に示されている基礎的・基本的な内容とする。
- 5 選抜に当たっては、各高等学校において入学者選抜委員会を設け、公正に行うものとする。

# 議案第6号

## 平成31年度青森県立特別支援学校高等部 入学者選抜基本方針案について

平成31年度青森県立特別支援学校高等部入学者選抜基本方針を次のように定める。

### 平成31年度青森県立特別支援学校高等部入学者選抜基本方針

青森県立特別支援学校高等部における入学者の選抜は、この方針によって実施する。

入学者の選抜は、教育の機会均等の精神にのっとり、公正かつ妥当な方法で、高等部を設置する各特別支援学校及び学科の特色に応じ、能力・適性、意欲、努力の成果などを様々な観点から評価し、適正に選抜されるよう実施するものとする。

- 1 特別支援学校の通学区域は、県下一円とする。
- 2 入学者の選抜は、次のとおりとする。
  - (1) 出願は、1人、1校1学科に限るものとする。ただし、青森県立盲学校に出願する場合は、普通科と保健医療科との間で第2志望を認める。
  - (2) 選抜は、中学校等の校長から提出される調査書、各特別支援学校で実施する面接の結果及び必要に応じて実施する諸検査の結果を選抜資料とし、総合的に判定し行うものとする。
  - (3) (1)にかかわらず、青森県立青森第二高等養護学校又は青森県立八戸高等支援学校の産業科に出願し、合格しなかった場合は、知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校（青森県立八戸高等支援学校を含む。）の普通科に出願することができる。
- 3 面接及び諸検査は、障害の特性・状況に十分配慮して適切に実施するものとする。
- 4 選抜に当たっては、各特別支援学校において入学者選抜委員会を設け、公正に行うものとする。

# 議案第7号

## 県立高等学校の募集停止について

### 1 提案理由

県立高等学校を募集停止するため提案するものである。

### 2 募集停止する学校名、課程及び学科

学 校 名	課 程	学 科
青森県立青森東高等学校平内校舎	全日制の課程	普 通 科
青森県立大湊高等学校川内校舎	全日制の課程	普 通 科

### 3 募集停止の時期

平成31年4月1日

# 議案第8号

## 県立高等学校の学科の廃止について

### 1 提案理由

県立高等学校の学科を廃止するため提案するものである。

### 2 学校名、課程及び廃止する学科

学 校 名	課 程	学 科
青森県立三沢高等学校	全日制の課程	英 語 科
青森県立田名部高等学校	全日制の課程	英 語 科
青森県立弘前工業高等学校	全日制の課程	インテリア科

### 3 廃止の時期

平成31年3月31日

### 4 その他

廃止の日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

# 参 考 資 料

第 8 3 3 回定例会（平成 3 0 年 6 月）

- 議案第 7 号  
県立高等学校の募集停止について P 1
- 議案第 8 号  
県立高等学校の学科の廃止について P 2 ~ 4

## 県立高等学校の募集停止について

### 1 募集停止の経緯

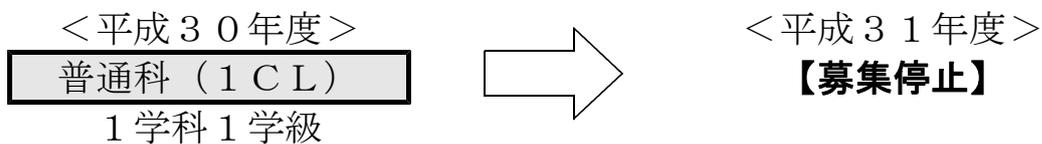
- 平成30年度から34年度までを計画期間とする青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画では、今回募集停止する高等学校に関して、次のとおり示している。

青森東高等学校平内校舎	平成31年度募集停止
大湊高等学校川内校舎	平成31年度募集停止

- 第1期実施計画における高等学校の募集停止のうち、青森東高等学校平内校舎及び大湊高等学校川内校舎の募集停止を平成31年度に行うものである。

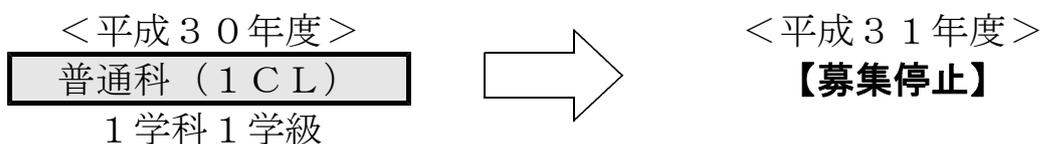
### 2 募集停止の内容

#### (1) 青森東高等学校平内校舎



「青森東高等学校平内校舎」を募集停止する。

#### (2) 大湊高等学校川内校舎



「大湊高等学校川内校舎」を募集停止する。

## 県立高等学校の学科の廃止について

### 1 学科の廃止の経緯

- 平成30年度から34年度までを計画期間とする青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画では、今回廃止する学科に関して、次のとおり示している。

#### 【英語科】

中学生のニーズ等を踏まえながら、社会のグローバル化等に対応し国際感覚を身に付けた人財を育成するとともに、高校卒業後の幅広い進路選択に対応するため、英語科を普通科に改編します。

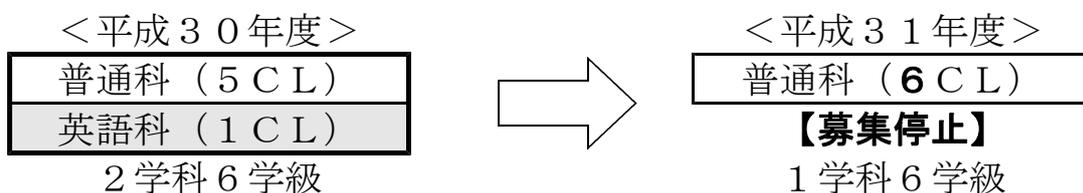
#### 【工業科】

弘前工業高校のインテリア科を建築科に統合し、建築物の設計や建築工事等に加え、インテリア施工等に関する学習の充実を図ります。

- 第1期実施計画における学科改編のうち、三沢高等学校及び田名部高等学校の英語科、弘前工業高等学校のインテリア科の学科改編を平成31年度に行うものである。

### 2 学科の廃止の内容

#### (1) 三沢高等学校



「英語科」を募集停止し、普通科に改編する。英語科で担ってきた異文化・国際理解教育については、学校設定科目の開設等により全生徒が選択可能とするなど、学校全体で発展的に引き継ぐこととする。

## (2) 田名部高等学校

＜平成30年度＞	→	＜平成31年度＞
普通科 (4 CL)		普通科 (5 CL)
英語科 (1 CL)		<b>【募集停止】</b>
2 学科 5 学級		1 学科 5 学級

「英語科」を募集停止し、普通科に改編する。英語科で担ってきた異文化・国際理解教育については、学校設定科目の開設等により全生徒が選択可能とするなど、学校全体で発展的に引き継ぐこととする。

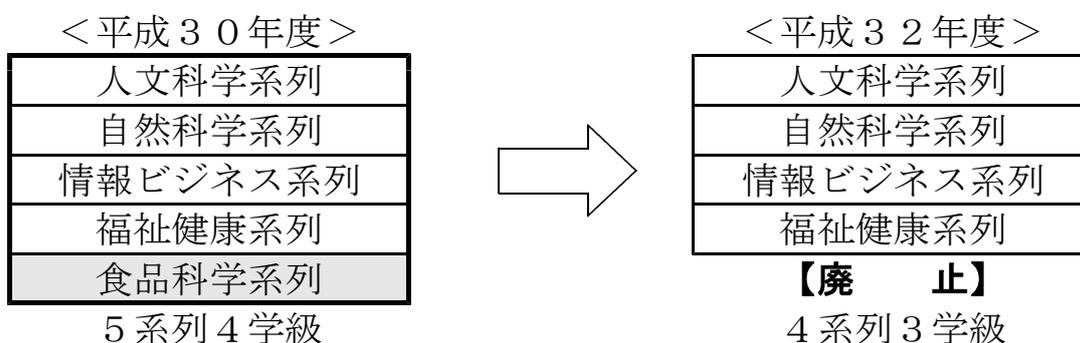
## (3) 弘前工業高等学校

＜平成30年度＞	→	＜平成31年度＞
機械科 (1 CL)		機械科 (1 CL)
電気科 (1 CL)		電気科 (1 CL)
電子科 (1 CL)		電子科 (1 CL)
情報技術科 (1 CL)		情報技術科 (1 CL)
土木科 (1 CL)		土木科 (1 CL)
建築科 (1 CL)		建築科 (1 CL)
インテリア科 (1 CL)		<b>【募集停止】</b>
7 学科 7 学級		6 学科 6 学級

「インテリア科」を募集停止し、建築科に改編（統合）する。インテリア科で担ってきた空間デザインの知識・技術を身に付けた人財の育成は、建築科における実習を通して継続して取り組み、生徒の進路選択幅を確保する。

### 3 参考（総合学科（七戸高等学校）の系列の見直し）

七戸高等学校は、平成31年度に1学級減ずる見込みであり、その場合、平成32年度の系列を見直すこととする。



「食品科学系列」については、平成31年度入学生から廃止する。食品科学系列で担ってきた地域農業を支える人財の育成は、三本木農業高等学校の農業経済科及び上北地区統合校に設置する食品科学科において継続して取り組み、生徒の進路選択幅を確保する。

#### 【系列とは】

興味・関心や能力・適性、卒業後の進路希望に合わせて科目を選択する目安になるように、相互に関連の深い、いくつかの科目をまとめたグループ（科目群）をいう。本県の総合学科を導入している高等学校では、2年次から系列に沿って科目を選択し履修することとしている。